





チャレンジできる、
おもしろさ。

Try to challenge



和歌山県
職員募集案内2025



和歌山県

より多くの方にチャレンジして
いただける試験になりました!

和歌山県職員採用試験の特色

1 特別な公務員対策が不要な試験を実施

4月に実施する「早期募集枠試験」及び6月に実施する「社会人採用試験」は、専門試験がなく、基礎能力試験（SCOA）と面接試験、論文試験で受験できます。

2 面接試験をより重視

最終合格決定は、筆記試験（基礎能力試験、専門試験）の成績と合計せず、面接試験と論文試験の成績により判定する「リセット方式」を採用します。（第1次試験で面接を行う試験を除きます。）

3 教養試験の代わりに基礎能力試験（SCOA）を実施（Ⅲ種事務系職種を除く）

4 専門試験の出題分野の選択が可能

6月に実施するⅠ種試験のうち、「一般行政職」、「学校事務職」、「警察事務職」を受験する場合、「法律」、「経済」、「総合A」、「総合B」を選択できます。



科目	出題分野　※出題分野は変更になる可能性があります	解答数
法律	憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学・財政学	40題
経済	経済原論、財政学、経済史、統計学、経済事情、経済政策、憲法・行政法・民法	40題
総合A	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、社会政策、国際関係、教育学、社会福祉概論、社会学概論、心理学概論	60題中 40題選択解答
総合B	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、社会政策、国際関係、数学・物理・化学	60題中 40題選択解答

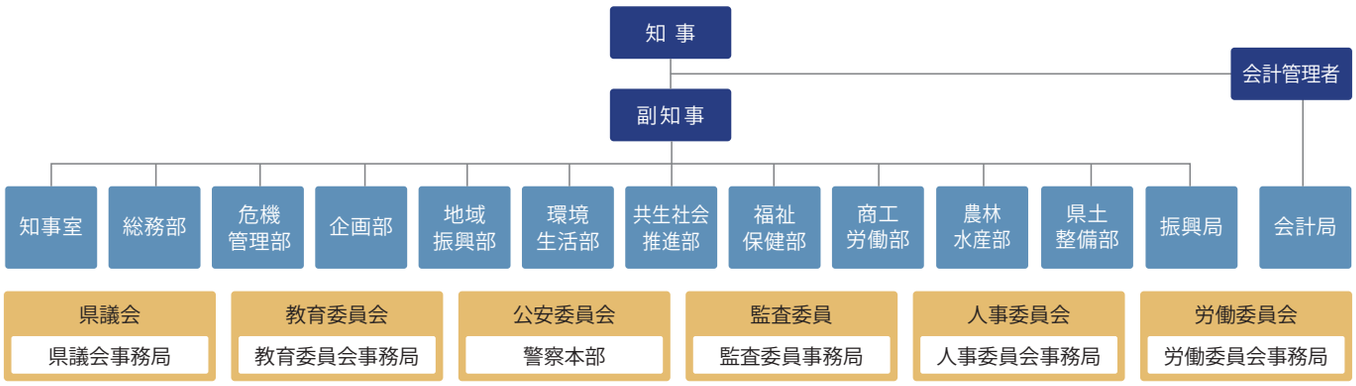


申込から採用までの流れ

試験の申込みは、「和歌山県電子申請サービス」からの申込みとなります。申込みから採用までのおおまかな流れなどは試験案内を確認してからお申込みください。
令和７年度の試験日程は、令和７年２月下旬（予定）から配布する総合案内でお知らせします。

	人事委員会						任命権者	
競争試験	受験申込	第1次試験	第1次試験合格発表	第２次試験	最終合格発表	採用候補者名簿に登載	意向確認	採用（原則４月１日）
早期募集枠（大学卒業程度）	3月上旬～3月下旬	4月上旬～4月中旬 全国（受験者が選択するテストセンター）	4月下旬	5月中旬～下旬 和歌山市	6月上旬			
Ⅰ種・社会人（大学卒業程度）	4月中旬～5月中旬	6月中旬 和歌山市、田辺市、東京都	6月下旬	7月上旬~下旬（Ⅰ種） 7月下旬~8月上旬（社会人） 和歌山市	8月上旬（Ⅰ種） 8月下旬（社会人）			
Ⅱ種・Ⅲ種（短大・高校卒業程度）	7月下旬～8月下旬	9月下旬 和歌山市、田辺市、新宮市	10月中旬	10月下旬 和歌山市	11月中旬			

組織図と主な職種紹介



● 事務職 行政・学校・警察

さまざまな部署で業務に就き、行政全体を見る幅広い視野を養ったうえで、各自の適性を見極めていきます。

配属先

【行政職】●**本庁**／本庁各課、県議会事務局、教育委員会事務局、各種委員会事務局●**地方機関**／各振興局、各保健所
【学校事務】各公立学校、教育委員会事務局等
【警察事務】警察本部・各警察署等

● 情報職

情報通信技術を利用することにより、県民生活の向上、行政事務の効率化、県内産業の振興、災害への対策などに取り組んでいます。情報基盤課を中心にさまざまな部署で業務に就き、行政全体を理解した情報政策の専門家として活躍していきます。

配属先

●**本庁**／情報基盤課、行政企画課、防災企画課、技術調査課、デジタル社会推進課、企画課（データ利活用推進センター）、会計課、総務事務集中課

● 土木職

安全・安心な活力ある県土の実現のため、道路、河川、砂防、下水道、都市計画、港湾など幅広い分野で基盤整備に取り組んでいます。

配属先

●**本庁**／県土整備部各課
●**地方機関**／各振興局、和歌山下津港湾事務所、ダム管理事務所(二川・椿山・七川)、和歌山県土砂災害啓発センター

● 農業工学職

持続可能な農業・農村を振興するため、農業に欠かすことのできない水の安定供給を図る農業用用排水施設等の更新整備や自動化・省力化整備、農村地域の安全度向上を図るため池改修等の防災・減災対策を推進するとともに、農村地域の活性化を図る活動支援などに取り組んでいます。

配属先

●**本庁**／農業農村整備課、農林水産振興課、地域振興課、検査・技術支援課、用地対策課
●**地方機関**／各振興局

● 建築職

まちづくり施策、景観施策及び住宅施策により調和のとれた地域づくりに取り組むとともに、建築確認、建築士指導及び公共施設の設計・工事監理により安全で安心な県土づくりに取り組んでいます。

配属先

●**本庁**／都市政策課、建築住宅課、公共建築課
●**地方機関**／各振興局

● 電気職・機械職

県の産業を支える工業用水の供給施設の運転監視、保守管理や県民生活に必要な公共施設（県立学校・県営住宅・下水道施設）の設備に関する設計、施工監理の業務に取り組んでいます。

配属先

●**本庁**／公営企業課、公共建築課、管財課（電気職のみ）
●**地方機関**／工業用水道管理センター、ダム管理事務所（椿山・七川）（電気職のみ）

● 化学職

水質、大気環境の保全や廃棄物の適正処理推進など身近な分野から地球温暖化対策などグローバルな分野まで、環境に関する様々な課題の解決や快適な生活環境の維持形成に取り組んでいます。

配属先

●**本庁**／危機管理消防課、脱炭素政策課、循環型社会推進課、環境管理課、成長産業推進課
●**地方機関**／環境衛生研究センター、各保健所

● 農学職

新品種育成や栽培技術の研究開発をはじめ、農家に対する生産技術や農業経営の指導、農産物の販売促進、担い手対策などを通じ、収益性の高い農業づくりを進めています。

配属先

●**本庁**／農林水産振興課、食品流通課、果樹園芸課、経営支援課
●**地方機関**／各振興局、農業試験場、暖地園芸センター、果樹試験場、かき・もも研究所、うめ研究所、農林大学校、就農支援センター

● 林学職

「木の国」の名にふさわしく、県土の約8割が森林。林業・木材産業を支える人材育成及び良質な木材生産を推進し、県土を守る森林づくりを進めています。また、紀州備長炭の振興など、豊かで魅力ある山村づくりに取り組んでいます。

配属先

●**本庁**／林業振興課、森林整備課
●**地方機関**／各振興局、林業試験場、農林大学校林業研修部

● 水産職

和歌山県の水産の特性に応じた資源管理・漁場造成の推進、漁業経営の安定指導、漁場環境・水産資源の調査研究、有用な水産動植物の増養殖研究などを通じ、収益性の高い水産業づくりに取り組んでいます。

配属先

●**本庁**／水産振興課、資源管理課
●**地方機関**／各振興局、水産試験場

● 社会福祉士

社会福祉の知識・技術をもって援助に当たる専門職として、児童福祉法や生活保護法等に基づく相談対応などあらゆる相談・指導業務や福祉施策の企画・運営を行っています。

配属先

●**本庁**／こども支援課、障害福祉課、長寿社会課
●**地方機関**／各振興局、各児童相談所、仙渓学園、DV支援センター、障害児者サポートセンター、精神保健福祉センター、難病・こども保健相談支援センター

● 心理職員

心理学の知識・技術をもって援助に当たる専門職として、児童相談所や県立の医療機関等において心理判定や心理療法等の業務を行っています。

配属先

●**地方機関**／各児童相談所、仙渓学園、障害児者サポートセンター、こころの医療センター、精神保健福祉センター

● 獣医師

家畜伝染病等の疾病予防と家畜の健康管理、食品衛生監視と検査等を通じ、食の安全・安心を提供するほか、受精卵移植や飼養管理技術等の試験研究、動物愛護精神の普及啓発と適正な飼い方等の指導を行っています。

配属先

●**本庁**／生活衛生課、畜産課
●**地方機関**／動物愛護センター、各保健所、環境衛生研究センター、畜産試験場、養鶏研究所、各家畜保健衛生所

● 薬剤師

薬学の知識・技術をもって、医薬品等の品質・有効性・安全性の確保業務、食の安全確保業務、廃棄物の適正処理、医薬品等の試験・研究業務、病院での調剤・服薬指導業務など、保健衛生の向上に取り組んでいます。

配属先

●**本庁**／薬務課、生活衛生課、循環型社会推進課
●**地方機関**／各保健所、工業技術センター、こころの医療センター、環境衛生研究センター

● 保健師

家庭訪問などの地区活動をとおして住民や地域の健康課題を把握し、他職種や関係機関と連携して地域包括ケアシステム構築に取り組んでいます。

配属先

●**本庁**／医務課、健康推進課、長寿社会課
●**地方機関**／各保健所、精神保健福祉センター、難病・こども保健相談支援センター、中央児童相談所

※組織図と主な職種紹介の配属先は令和６年12月1日現在のものです。組織改正により変更になる場合があります。

和歌山県が
力を入れている
取り組み

「モノ」「コト」だけじゃない「ヒト」から始まるプロモーション



一般行政職

主査
東島 達也
HIGASHIJIMA TATSUYA

地域振興部／観光局／
観光交流課
2012年度入庁

「セールスコール」と「FAM Trip」

県では、海外での認知度を上げて多くのお客様に来ていただくために、アジアや欧米豪市場にプロモーションをしています。仕事は大きく2つ。海外での「セールスコール」と旅行関係者等を招請し本県を案内する「FAM Trip」があります。

「セールスコール」では、旅行会社やテレビ局、出版社など多岐にわたる業界を訪問しますが、親日の方が多く、皆さん熱心に話を聞いてくれます。国や文化が違う方々との商談は戸惑うことも多いですが、難しい依頼にも誠実に対応し、信頼を得るように努めています。

「FAM Trip」では、旅行商品の造成や海外メディアで取り上げてもらうために、旅行関係者を招請し、県内を案内します。県内の観光施設やアクティビティの紹介はもちろんですが、私は観光地のストーリーやそこで働く人々が大事にしている価値観を伝えることも意識しています。



人と人とをつなぐプロモーション

インバウンド事業を担当して驚いたことは、旅行会社やメディア関係者は、観光施設の設備や料金以上に観光事業者との「つながり」を大切にしているということです。

これまでも信頼できる観光事業者がいるからその観光施設がツアーに組み込まれたり、良いおもてなしを受けたから改めて取材をしたりと、人と人とのつながりが実を結んでいます。

和歌山県には魅力的な観光事業者が多いです。その人柄も含めてプロモーションができればと考えています。





世界から、観光から、和歌山県を盛り上げる

私の仕事は海外出張が多いですが、通訳がいるので外国語能力は必須ではありません。それよりも、誰とでも積極的にコミュニケーションを取ることや前向きに仕事に取り組む姿勢が重要です。また、自ら考え高い効果が得られるプロジェクトであれば、前例がなくてもどんどん実施することができます。

コロナ禍以降、再びインバウンド市場が盛り上がっています。たくさんのお客様に和歌山県に来てもらえるように、海外での認知度を高めて、和歌山県の観光事業者と地域を盛り上げるために尽力していきます。



子育て「どまんなか」にいる私がこどもにやさしい社会をつくる

社会福祉士

副主査
野口 真幹
NOGUCHI MASAKI

中央児童相談所
2015年度入庁

こどもの困りごとへの支援策

和歌山県では、すべてのこどもが幸せな生活を送ることができる「こどもまんなか社会」実現のため、多岐にわたる取り組みをしています。

こどもが成長する中で課題に直面した際に相談援助を行う児童相談所の体制もその一つです。児童相談所は、児童虐待だけではなく、こどもの発達やしつけ、不登校、非行など、子育てのさまざまな悩みに対応する専門機関です。児童福祉司や児童心理司、保健師、弁護士などの専門職員が連携しながら相談に応じています。

私は児童福祉司として、悩みを抱えるこどもや家族からの相談に対応をしています。こどもや家族と面接し、こどもの置かれている環境や困りごとを整理して、こどもや家族と一緒になって課題の解決に取り組みます。また、必要に応じて地域の支援機関とも連絡を取り、家庭の支援体制を調整していきます。

児童相談所職員は、こどもや家族の困りごとにチーム一丸となって最善の支援策を検討します。そして、こどもが心身ともに健やかに育ち、こどもと家族の持つ力が最大限に発揮できるよう支援しています。



仕事と子育ての両立

私の職場は子育てについて理解があり、福利厚生も整っています。

もちろん男性の育児参加も推奨されているため、さまざまな子育ての制度を活用し、自分のライフスタイルにあった働き方ができるのが魅力です。この制度を活用し、妻の出産の際、我が子が生まれる瞬間に立ち会うことができました。また、育児休業も取得しました。こうして我が子の成長を見守れた経験は何よりも貴重だったと思います。



こどもたちの笑顔のために

こどもや保護者からの相談を受けて支援をした結果、こどもや保護者の笑顔が見られた時は非常にうれしく感じます。また、こどもや保護者から感謝されたときも、とてもやりがいを感じます。こども一人一人と面接やスポーツ、遊びを通じて信頼関係を築き、その子に合う支援策は何かを考えることの面白さもあります。

私自身も子育て世代。自分自身の子育て経験を活かし、これからもこどもたちの笑顔のために仕事に努めたいと思います。

仕事を知る

現場で働く先輩にインタビュー！

※所属、役職等は取材当時のものです。

一般行政職



人事異動の経験が私自身を豊かにする

都市に住む方々に和歌山で暮らす魅力を発信するPR業務に携わっています。移住セミナーや相談会の開催、ホームページ等での情報発信では、企画力が求められるので、日々の情報収集と学習が欠かせません。仲良く明るい部署で相談しやすい環境の中、業務ができています。

私にとって、人事異動はメリット。いつも新鮮な気持ちで業務と向き合え、色々な経験を重ねることで自身のスキルアップにもつながります。どの部署でも「県民への貢献」の気持ちを大事にしています。



副主査
大橋 茉由
OHASHI MAYU

企画部／地域振興局／移住定住推進課
2016年度入庁

学校事務職

バックオフィスから教員・生徒を全力サポート

教職員の出張旅費や光熱水費等の支出事務、部活動強化のための補助金事務など、教員のバックオフィス業務を担当しています。私は特に行事や教員のスケジュールを念頭に置き、密なコミュニケーションを心掛けています。書類を通じて、教員の仕事に貢献したり、生徒の部活動での頑張りを感じることができます。

家庭では、こどもの保育園への送迎など子育てに奮闘中。職場は上司や同僚に家庭のことも気軽に相談できるため、とても感謝しています。





副主査
庄田 実里
SHOTA MISATO

和歌山県立紀央館高等学校
2020年度入庁

警察事務職



給与事務のスペシャリスト責任の重さがやりがいに

警察職員全体の給与支払いや年末調整の管理事務をしています。和歌山県警察に関わる約2000人の給与や手当を管理しているため、各警察署の給与担当者からの問い合わせも多くあります。その対応も大事な仕事です。

経験を積み、難しい仕事も任されるようになってきました。責任の重さを感じますが、問い合わせにスムーズに対応できたり、ミスなく毎月の給与支払いが終わったときには、ほっとすると同時にやりがいを感じます。



主事
米舛 菜々花
YONEMASU NANAKA

警察本部／警務部／警務課
2019年度入庁



情報職

県庁のネットワークを安定供給
DXで新たな仕組みを創造する

庁内ネットワークの運用管理や次期ネットワークの設計、庁内無線LANの拡大を担当しています。和歌山県内を高速回線で結ぶ「きのくにe-ねっと」を利用する市町村や関係機関等の利用管理も行っています。県庁内外のデジタル化に携わることができるのが、情報職の魅力です。

県庁もDX推進の真っ最中。今後はさらに知識を深め、企画立案にもチャレンジしたいです。庁内からの簡単な問い合わせ対応をAIチャットで行えるようにするなど、業務改善に役立つ仕組みも作っていければと思います。



技師
川西 百花
KAWANISHI MOMOKA

総務部／行政企画局／情報基盤課
2021年度入庁

スケールの大きな仕事が魅力
地域の暮らしと安全を「カタチ」にする

河川や港湾などの土木施設の工事発注、監督などの業務をしています。

河川の拡幅や防波堤の強化など、スケールの大きい仕事が多く、県庁以外では経験できない仕事に携われることが魅力です。大変だと感じることはありますが、住民の方や受注業者、関係者と話し合いを重ね、最終的に図面にあったものが実際に完成した構造物として目の前に現れ、供用されると大きな達成感を得られます。



技師
大隈 ゆき
OKUMA YUKI

西牟婁振興局／建設部／工務課
2015年度入庁

土木職





農業工学職

地域の農業を支える技師
さまざまな事業に奮闘中

地域農業を支援する補助金事業を担当しています。中でも中山間地域等直接支払事業では、傾斜地など生産条件が不利な地域の農業を支援したり、中山間ふるさと・水と土保全対策事業では、棚田や段々畑などの地域資源を活用した地域の活性化を支援しています。他にも仕事は農地・農業施設の災害復旧事業や小規模土地改良事業、地籍調査事業など多岐にわたり、小規模な工事の監督員をすることもあります。

職場はベテランの方が多く、何でも相談できて安心して働くことができます。



技師
酒井 優
SAKAI YU

西牟婁振興局／農林水産振興部／農地課
2021年度入庁

建築職



担当している業務は
県民の暮らしや住まいづくりにつながっている

公営住宅を管理運営する市町村職員のサポートやマンションの維持管理を適切に推進する業務を担当しています。どの仕事も県民が暮らしやすい街や住まいをつくっていくことに直結していると感じています。当初は多岐にわたる業務に戸惑いもありましたが、上司や先輩からの丁寧なアドバイスがあり、自分一人でも対応できることが増え、仕事にやりがいを感じています。

技師
内田 将成
UCHIDA MASANARI

県土整備部／都市住宅局／建築住宅課
2021年度入庁

電気職



公共施設の電気設備の設計者
目に見える成果がやりがい

公共施設の電気設備の設計や工事を担当しています。施設の特性や利用目的を踏まえて、照明器具や各種機器類へ電源供給する配管配線など最適な電気設備を設計します。また、仕様に基づいて安全かつスムーズな工事が行われるよう、施工監理も行います。現場の方たちと技術的な議論を深めて進めていくのが刺激的です。長く県民の方に利用される施設として目に見える成果があるのもやりがいになっています。

副主査
青木 一真
AOKI KAZUMA

西牟婁振興局／建設部／建築課
2019年度入庁

機械職



公共施設の機械設備の設計者
長く利用されることがやりがい

公共施設の空調やトイレなどの給排水設備の設計や工事を担当しています。新施設や老朽化した施設の改修など、さまざまな公共施設から依頼があります。予算と仕様が決まっている中で、依頼者と受注者の思いをすり合わせて進める必要があり、粘り強く提案や交渉をしていきます。担当した公共施設が形に残り、さらにそれが長く多くの人に利用されていくことにやりがいを感じます。

副主査
嶋﨑 恵介
SHIMAZAKI KEISUKE

西牟婁振興局／建設部／建築課
2018年度入庁

化学職



県民の生活環境を守るため
水質・大気環境を調査

水質・大気環境の保全や、廃棄物の適正処理の指導を担当しています。事業場の排水や排出ガスが法や条例の基準に適合しているかを調査したり、廃棄物の不法投棄監視パトロールや不適正処理に対する指導も行っています。職場はお互いの業務を助け合う環境が整っているので、安心して育児休暇を取得することができ、家族との時間を大切に過ごせました。

主査
髙野 晃輔
TAKANO KOSUKE

伊都振興局／健康福祉部／衛生環境課（橋本保健所）
2011年度入庁



農学職

農家と共に病害虫と向き合い
研究で問題を解決する

施設栽培ミニトマトの「葉かび病」の研究を担当し、病気の発生生態の解明や防除対策に取り組んでいます。病害虫は農業につきものですが、コントロールできないと大きな損失となるので、非常に重要な課題です。病気が多発すると収量が減ってしまうため、産地で問題となっています。農家の方や関係機関と連携しながら、問題解決に向けて貢献できたときはとても嬉しく思います。

研究員
木村 響
KIMURA HIBIKI

農業試験場
2018年度入庁



林学職

広大な自然が私の職場
和歌山の「山」を守り、育てる

森林所有者等が山に木を植えたり、下刈り、間伐などの手入れを行った際に補助金を交付する業務を担当しています。補助金の交付には、現地検査が必要なため、連日現場に行くこともあります。時には急斜面を登り、長時間山道を歩くこともあるので大変ですが、日々変化する山の景色を見ることができるので、楽しく仕事に取り組むことができています。

副主査
小和田 愛美
KOWADA MANAMI

西牟婁振興局／農林水産振興部／林務課
2020年度入庁



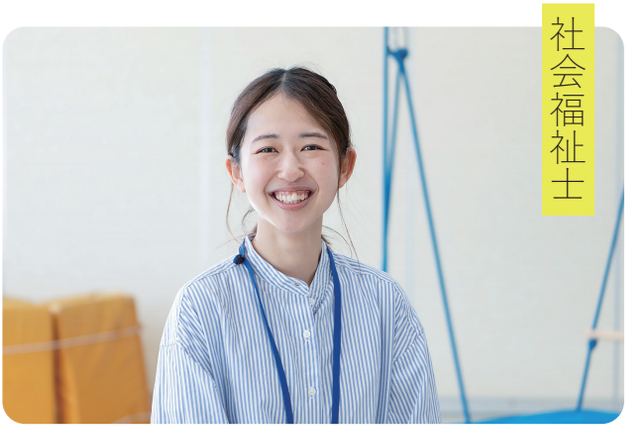
水産職

「栽培漁業」で漁獲を増やす
好きを生かせる職場

水産業の振興に関する幅広い業務を担当しています。中でも漁獲量の増加を目的とした「栽培漁業」の推進に特に力を入れて取り組んでいます。放流する魚種の選定などの事業計画を策定する時は、その内容が県の事業としてダイレクトに反映されるので、放流効果が出るのかというプレッシャーはありますが、大きなやりがいを感じています。

副主査
大橋 慎平
OHASHI SHINPEI

農林水産部／水産局／水産振興課
2020年度入庁



社会福祉士

学校や市町村と連携し
児童と家庭を支援する

児童虐待・不登校・非行・家庭内暴力などさまざまな課題を抱える児童や保護者に対して、家庭訪問や面接にて調査や相談支援を行います。また、学校や地域の関係機関と連携を取り、児童や保護者の支援体制を調整することも重要な業務の一つです。家庭が抱える課題は複雑なものが多く、相談対応を行う中で困難な場面に直面することもありますが、悩んでいると上司や先輩が声をかけてくれる相談しやすい職場環境です。

福祉主事
林 理佐子
HAYASHI RISAKO

子ども・女性・障害者相談センター
2019年度入庁

心理職員



心理的アプローチを用いた「心」を考えるお手伝い

児童、保護者の面接や心理アセスメントが主な業務です。児童虐待、非行、発達に課題のある児童にさまざまな心理的アプローチを用いて、「心」について考えるお手伝いをしています。面接や家庭訪問をしたり、相談内容によっては発達検査や心理検査をしたりと、多角的な視点から支援をしています。親子がお互いの気持ちをわかり合うことができた瞬間はやりがいを感じます。

福祉主事
堂本 素基
DOMOTO MOTOKI
子ども・女性・障害者相談センター
2021年度入庁

精神保健福祉士



市町村や関係機関と連携し住民のメンタルヘルスをサポート

医療機関への受診や療養の相談に応じる個別支援業務と精神医療や精神障害者支援の体制整備業務を担当しています。個別支援業務では、当事者と周囲の希望が異なる場合が多く、意思統一を図るのに時間と根気が必要となりますが、当事者の気持ちを尊重し、それに基づいた支援のもとで回復していく姿を見られるのが、大きなやりがいです。

主査
中家 嘉章
NAKAIE YOSHIAKI
西牟婁振興局／健康福祉部／保健課（田辺保健所）
2014年度入庁

獣医師



動物愛護から食品衛生まで動物に関わるエキスパート

ペットショップやブリーダーなどの動物取扱業に関する業務をはじめ、動物園のライオンやクマといった特定動物に関わる業務、地域猫対策や食品営業許可に関わる業務など、獣医師の仕事は多岐にわたります。

動物愛護啓発事業では、小学校からの依頼を受けて、実際に保護した犬と触れ合いながら、命の大切さや動物との関わり方について学ぶ講習会を開いています。

主査
湯橋 翔
YUHASHI SHO
西牟婁振興局／健康福祉部／衛生環境課（田辺保健所）
2017年度入庁

薬剤師



薬剤師の知識を活用し、県民の健康を守る

和歌山県での薬剤師としての業務は、調剤業務だけでなく薬事や食品衛生、試験研究など、想像以上に多岐にわたります。現在は、病院や薬局、医薬品卸売販売業者の立ち入り検査を実施し、医薬品の適正な流通や施用等について指導したり、各学校において、若年層が誤った知識や興味本位で安易に薬物に手を出さないよう薬物乱用防止教室を開催しています。

副主査
上田 伸幸
UEDA NOBUYUKI
福祉保健部／健康局／薬務課
2015年度入庁

保健師



専門性を生かし、地域に貢献
高齢者に質の高い介護サービスを

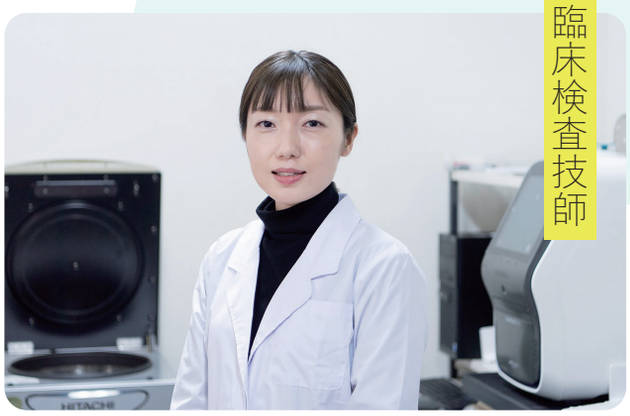
高齢者の介護や介護予防、介護保険サービス事業者に関わる仕事がメインです。高齢者への適切かつ質の高い介護サービスの提供を目指して、事業者からの相談対応や指導をしたり、会議や研修にも参加しています。

県の保健師は、県内の広い地域で、専門性が高く幅広い活動ができることが魅力です。

保健師
平野 悠紀子
HIRANO YUKIKO

西牟婁振興局／健康福祉部／総務福祉課
2021年度入庁

臨床検査技師



ウイルス検査の情報が
国の感染症対策の一端を担う

環境衛生研究センターは、県民の健康や地域の環境を守る試験研究機関で、「水質」「大気」「衛生」「微生物」の4つのグループに分かれています。

私は微生物グループで、感染症の原因究明や病原体情報収集のためのウイルス検査、その情報発信を行っています。ここで得られた検査結果は国で集計され、病気の流行予測などに活用され、重要な感染症対策の一端を担っています。

副主査研究員
寺西 彩香
TERANISHI AYAKA

環境衛生研究センター
2012年度入庁

船舶職員



違法操業を取り締る
常に自然と向き合い、漁業資源を守る航海士

航海士として漁業取締船の運行・船体整備などの業務だけでなく、漁業監督吏員として漁業指導や取締りをしています。漁業取締りでは、海上や陸上のパトロールはもちろんのこと、通報で現場に駆けつけ、立ち入り検査で相手の船へ乗り込むこともあります。早朝や夜間の取締りなど体力的に大変なところもありますが、漁業秩序の維持や資源保護に貢献できていると感じています。

副主査航海士
坂東 卓哉
BANDO TAKUYA

農林水産部／水産局／資源管理課
2016年度入庁

栄養士



県民の健康づくりを推進
講習会や立入検査、栄養表示の相談も

県民の健康づくりの推進がメインの仕事です。例えば、働き盛りの人向けの講習会を開催し、「メンタルヘルス」や「糖尿病」など、関心が高そうなテーマや県民の方に知ってほしいテーマを選んで健康づくりの啓発活動を行っています。福祉施設や保育所などの給食施設へ立ち入り検査をしたり、食品の栄養成分表示の確認などの相談を受けることも仕事のひとつです。

副主査
田中 早紀
TANAKA SAKI

海草振興局／健康福祉部／保健課（海南保健所）
2014年度入庁

給与・待遇

給与

（円）

	初任給（給料等の月額（地域手当5%を含む））	大学新卒（一例）		大卒後民間企業等 経験7年（一例）	
Ⅰ種	一般行政職、土木職、建築職、学校事務職、警察事務職等		236,880		255,990
	化学職、農学職、林学職、水産職	本庁・振興局	236,880	本庁・振興局	255,990
		試験研究機関	258,510	試験研究機関	301,560
	薬剤師、獣医師 ※大卒時に資格を取得している場合	本庁	250,110	本庁	260,925
		保健所・病院	259,140	保健所・病院	280,980
		試験研究機関	282,975	試験研究機関	321,930
	保健師 ※大卒時に資格を取得している場合	本庁	236,880	本庁	255,990
		保健所等	271,425	保健所等	295,365

	初任給（給料等の月額（地域手当5%を含む））	短大卒
Ⅱ種		221,130

	初任給（給料等の月額（地域手当5%を含む））	高校卒
Ⅲ種		204,225

（注）・令和6年4月1日採用者の金額
・経歴その他及び勤務公署により給料等の月額は異なります（資格免許の必要な職種は、原則として資格免許取得後の経験年数のみ経歴に換算されます）。

期末・勤勉手当（ボーナス）及び各種手当

期末・勤勉手当（ボーナス）が6月、12月に支給されます（令和6年度実績 計4.6月分）。また、各種手当として、状況に応じて扶養手当、地域手当（1.5%～5%）、住居手当、通勤手当などが支給されます。

勤務時間（週休2日制）

勤務時間は、原則として月曜日から金曜日の午前9時から午後5時45分まで。完全週休2日制（1週38時間45分）を実施しています。

休暇等

1年につき20日の年次有給休暇（1時間単位で取得可）が付与されます。この他、夏季休暇（5日）、結婚休暇、産前産後休暇、病気休暇等があります。また、育児休業、介護休暇の制度もあります。

福利厚生

職員の健康管理

心身ともに健康な状態で働けるように、定期的に各種の健康診断、健康指導・健康相談などを実施して、職員の健康の保持増進、疾病の早期発見に努めています。

給付・貸付制度

職員の福利厚生のために共済組合・互助会があり、給付・貸付事業、レクリエーション事業等を行っています。

その他

互助会が指定する宿泊施設、レジャー施設、各種サービスが割引価格で利用できます。

働き方改革について（※知事部局の例）

和歌山県では、職員のライフワークバランスの向上、県民の幸せにつながる仕事の一層の推進を図るために、リモートワークの推進や庁内環境の整備などさまざまな方法で「働き方改革」を進めています。職員一人ひとりが多様な働き方を実現し、業務を効率化することで職場環境の改善を目指します。

時差出勤制度

通常の始業時間である9:00のほか、職員のライフスタイルに合わせて、4つの区分の中から選択することができます。
①8:00～16:45　②8:30～17:15
③9:30～18:15　④10:00～18:45

リモートワーク（在宅勤務制度）の推進

個人に配布されるノートパソコンを利用して、自宅にいながら職場と同じように仕事をすることができます。通勤時間を育児・介護や家事の時間に充てられ、ライフワークバランスの充実を図ることができます。

庁内環境

無線ＬＡＮが整備され、庁舎内のさまざまな場所で気軽に打ち合わせができ、ペーパーレス化促進にもつながっています。また、県庁内の一部のフロアでは好きな席で仕事ができるフリーアドレスを実践しています。

出産・育児のサポート制度

和歌山県庁は、産前産後休暇や育児休業をはじめとした出産や子育てを支援する各種制度が整備されているとともに、代替の職員が配属されるなど、実際に制度が利用しやすい職場環境となっています。配属、仕事内容、昇任、研修とも男女の差はありません。

※所属、役職等は取材当時のものです。



福祉保健部／健康局／医務課
副主査

中村 圭佑

R3.7	妻の出産休暇
R3.8	育児参加休暇
R5.4	妻の出産休暇
R5.5.8~R5.6.30	育児休業

男性の育児休業も取りやすい環境なので、周囲の協力もありながら、2カ月の育児休業を取得しました。家のことに集中できて非常によかったと感じています。2歳と0歳のこどもがいて、プライベートではほとんどこどもと過ごしています。こどもは常に予想外のことばかりしてくれて、昨日できなかったことが、今日できるようになっていたり、毎日が驚きの連続。成長を見ることができるのが楽しいですね。





紀北家畜保健衛生所
副主査

安田 裕子

R1.6.6~R1.9.25	産前産後休暇
R1.9.26~R2.3.31	育児休業
R2.4.1~R3.3.31	育児時間休暇
R3.5.8~R3.8.27	産前産後休暇
R3.8.28~R4.3.31	育児休業
R4.4.1~現在	育児時間休暇

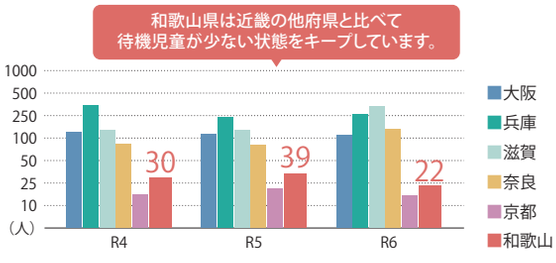
獣医師として働きながらも、ライフワークバランスを大切にしたいと思い、福利厚生が充実している県庁を志望しました。産前産後休暇や育児休業など、専門職なので取得しにくいかと少し心配だったのですが、スムーズに取得できました。現在、「育児時間休暇」を取得し、毎日1時間の時短勤務をしています。こどもたちは2歳と4歳。手のかかる時期ですが、職場の理解も得られ、夫の協力もあるので、奮闘しながら仕事と育児を両立しています。



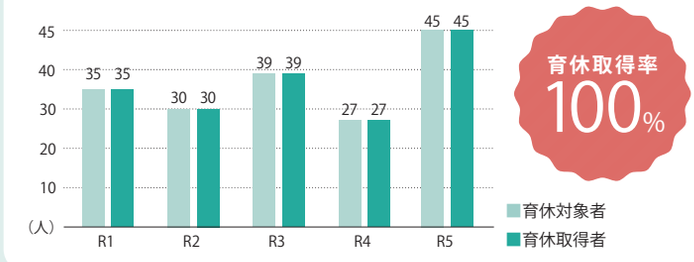
[出産・育児のサポート制度]



[近畿2府4県の待機児童数]



[女性職員の育児休業取得状況]



※制度内容は令和6年12月1日現在の制度です。変更される場合があります。

研修制度

様々な職員研修で、職員のスキルアップをサポートします。

主な職員研修

階層別研修
（新規採用職員研修も含む）

経験年数や役職に応じて求められる能力等を身に付けるため研修を実施します。特に新規採用職員研修は、前期、中期、後期に分けて実施します。

特定分野別研修

「政策形成能力」、「対人能力」など特定分野についての能力を集中的に身に付けるための研修を実施します。

派遣研修

庁内公募を実施し、若手職員を中心に省庁・海外・民間等への派遣研修を実施しています（派遣実績については下表参照）。

● 派遣研修

一般行政職　辻脇 佳奈
TSUJIWAKI KANA

総務部／総務管理局／人事課
2017年度入庁

研修先　一般財団法人自治体国際化協会（クレア）
研修期間　3年間（東京本部1年間とシドニー事務所2年間）
※所属、役職等は取材当時のものです。



現在、シドニー事務所の1年目で、JETプログラム（日本で語学指導等を行う外国青年招致事業）に関する事業を主に担当しています。オーストラリア・ニュージーランドからのプログラム参加者の出発前サポート、JETAA（プログラム経験者の会）の活動サポートを行っています。プレゼンの実施やレセプションへの出席のため、出張の機会が多く、月に数回飛行機に乗ることもあります。人と関わることが好きな私にとって、各地を訪れ、現地の方と新しくネットワークを構築したり交流を深めたりすることは、大変学びが多く、かけがえのない経験となっています。また、現地で開催されるイベントへの出展事業では、ブースを訪れた方に日本各地の観光情報を案内する際に、和歌山の魅力発信にも努めています。

さまざまな事業を通じて、日本に深い関心を持っている方や、日本との架け橋となる活動を続けている方が多くいることを知り、嬉しく思うと同時に感服しています。

クレアでの仕事は、語学力だけでなく、多様な文化や価値観に応じた企画・調整力が求められますが、公私共に交友関係を広げながら日々楽しく学んでいます。引き続き、経験をたくさん積み吸収していきたいと思います。

派遣実績　令和6年度（44名（うち、女性12名））

省庁
- 内閣府
- デジタル庁
- 総務省(2)
- 外務省
- 財務省(2)
- 文化庁（京都）
- 厚生労働省
- 経済産業省(2)
- 中小企業庁
- 資源エネルギー庁
- 農林水産省(3)
- 国土交通省(2)

海外
- 自治体国際化協会（ロンドン、シドニー）
- 国際観光振興機構（シドニー）
- タイ工業省（タイ）
- 中国山東省政府

民間等
- 2025年日本国際博覧会協会（７）
- 地方公共団体情報システム機構《J-LIS》
- 防災科学技術研究所《NIED》
- みずほリサーチ＆テクノロジーズ（株）
- （株）紀陽銀行
- JETRO和歌山事務所
- 関西広域連合（３）

大学等
- 東京大学先端研
- 和歌山大学大学院
- 滋賀大学大学院
- 政策研究大学院大学
- 事業構想大学院大学
- 自治大学校

人事異動・昇任／キャリアパス

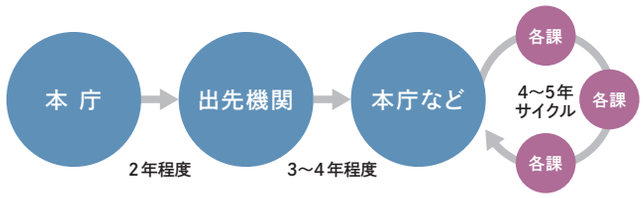
主な配属先

新規採用職員は、本庁又は出先機関、各試験研究機関等に配属されます。Ⅰ種試験合格者の場合、採用時に本庁に配属された人は2年程度で出先機関の勤務となり、出先機関に配属された人は3～4年で本庁等の勤務となります。その後、平均4～5年サイクルで各課を異動し、さまざまな職場を経験することで、幅広い能力・知識の習得を図っています。また、年に一度希望する勤務先、職務について、申告する機会があります。

※主な配属先は令和６年12月1日現在のものです。組織改正により変更になる場合があります。

[配属と異動の一例]

Ⅰ種試験合格者で、採用時に本庁に配属された場合



昇任について

主な役職は、主査（係長級）、主任（課長補佐級スタッフ）、班長（課長補佐級ライン）、副課長、課長、局長、部長となっています。Ⅰ種試験合格者で比較的速いペースの昇任は経験年数12年で主査となり、本庁と地方機関で合計7年の主査経験を経て主任になるケースです。
昇任試験を実施していないので、昇任は人事評価等を踏まえ、総合的な能力・実績主義に基づいて判定し、やる気・能力のある若手職員の抜てき人事も行っています。

[職員のキャリアパスモデル]



STEP01	STEP02	STEP03	STEP04	STEP05	STEP06
主事	副主査	主査	班長	課長	部長
22歳 約350万円	30歳 約460万円	35歳 約510万円	45歳 約660万円	53歳 約830万円	58歳 約1000万円
求められる役割	求められる役割	求められる役割	求められる役割	求められる役割	求められる役割
公務員としての基本的な知識・技術を習得し、担当業務を期限内に確実に遂行すること	収集した知識・技術を担当業務に活かすとともに、担当業務の理解を深め、分かりやすく説明すること	担当業務の効率化・改善、適切な判断・進行管理を行うとともに、若手等の指導・育成を行うこと	班の施策の企画立案、適切な進行管理、関係者との合意形成、班員の育成・勤務管理を行うこと	課の方針・目標・成果の設定、課のマネジメントを行うこと	部の方針・目標・成果の設定、部のマネジメントを行うこと
求められるスキル	求められるスキル	求められるスキル	求められるスキル	求められるスキル	求められるスキル
意欲的な姿勢、期限厳守	情報収集能力、説明能力	課題解決能力、判断能力、進行管理能力、指導・育成能力	企画立案能力、合意形成能力、育成・勤務管理能力	決断力、マネジメント能力	決断力、マネジメント能力

1　本キャリアパスモデルは、令和６年度現在において、大学卒業程度試験（第Ⅰ種）を受験し、２２歳で大学を卒業し入庁した場合のモデルの一例です。
2　年齢による昇進等を保証するものではありません。
3　副課長、局長等の一部の役職は省略しています。
4　年間給与は、給料・地域手当・管理職手当の１２ヶ月分及び期末・勤勉手当を合算した金額です。

試験案内の入手方法

和歌山県職員採用情報サイトから印刷できます。 https://pref-wakayama-recruit.jp/

インターンシップ等も実施しています！

●実施日：8月～10月（5日間） ●申込期間：6月中旬～7月中旬

●その他、オープンカンパニー（１日間）等も実施しています。

詳細は、和歌山県職員採用情報サイトの「インターンシップ」に掲載しています。
https://pref-wakayama-recruit.jp/setumeikai/internship/

県庁職場ガイドに参加して、実際の仕事に触れることができます

行政のプロフェッショナルとして、和歌山県職員をめざしている方に県庁を訪問していただき、県の施策や仕事の魅力などについて、県庁の先輩職員が直接お話しし、また、県の仕事などに関する皆さんの疑問や質問にお答えします。

● 対象者

和歌山県職員をめざしている方

● 受付期間

参加希望があれば随時受け付けています。

● 訪問日時

申込み受付後、日程調整の上、メール等により連絡します（土・日・祝日及び12/29～1/3を除く）。
なお、同一日に多数の申込者が集中した場合や、その他の事由により、希望に添えない場合がありますのであらかじめご了承ください。

● 申込方法

「県庁職場ガイド」ページ
https://pref-wakayama-recruit.jp/setumeikai/guide/
よりお申し込みください。
ただし、警察事務職は電話のみの受付となります。

● 申込・問い合わせ先

1 一般行政職 及び2 3 以外の職

〒640-8585（県庁専用郵便番号のため住所不要）
和歌山県総務部総務管理局
人事課　人材育成班
TEL.073-441-2138（直通）
✉e0102001@pref.wakayama.lg.jp

2 学校事務職

和歌山県教育委員会事務局
紀北教育事務所
TEL.073-441-3655（直通）
FAX.073-424-8877
✉e5013001@pref.wakayama.lg.jp

3 警察事務職

和歌山県警察本部
警務課　採用係
※電話のみの受付となります。
TEL.073-423-0110（内線2626）
フリーダイヤル：0120-217-314

お問い合わせ

和歌山県人事委員会事務局 〒640-8585 和歌山市小松原通1-1
TEL.073-432-4111（内線3763）/TEL.073-441-3763（直通）
FAX.073-433-4085

和歌山県職員採用情報サイト
https://pref-wakayama-recruit.jp/